

オンラインリワークプログラム eRework (イーワーク)

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/e-rework/>

全従業員にいきわたる復職支援プログラム

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴	
北海道	東北	関東	甲信越	<p>復職に向けたリワークプログラムをオンラインで提供します。全国どこからでも平等に受講できます。</p> <p>主治医による「復職準備可」許可が出た方が対象で、生活リズム表や受講状況は本人と企業管理者のページからPDF等でダウンロード可能で、必要に応じて本人から主治医や産業医への共有にもお使いいただけます。</p> <p>◆訓練メニュー</p> <p>認知行動理論に基づく3週間のオンラインプログラムで、GPSを活用した移動訓練から始め、体力づくりと生活リズム回復を行います。さらにストレス耐性強化のeラーニングやワークで心身を整え、不安のない復職を目指します。</p> <p>◆管理機能</p> <p>受講状況や問診結果をスコア化し、企業が復職判断や復職後のモニタリングに活用可能。</p> <p>休職者の準備具合が数値として見えるため、企業にとっては適切な復職判断の材料となり、復職後の状況もモニタリングしやすくなります。</p> <p>◆受入れ部署の管理職向けサポート</p> <p>休職開始から復職後までの対応をeラーニングで学べます。部下が休職した際に、必要な知識を必要なタイミングで知ることができるため、現場任せを防ぎ、安心して働ける職場環境とメンタルヘルス向上に寄与します。</p>	
北陸	東海	近畿	中国		
四国	九州	沖縄	海外		
提供可能法人規模 (◎:実績あり、○:提供可)				導入企業の評価	
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	<p>①平等性/利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤訓練なども含めオンラインで完結するため、全国の拠点に公平にリワークプログラム届けられる ・スマートフォンからでも取り組める <p>②プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSを使っでの通勤訓練、生活リズム表の記録もプログラムに入っており、復職に向けての基礎的な生活習慣の構築に役立つ。 ・実際にeReworkで認知行動療法を学んだ休職者から、「自分で勉強はしていたが、具体的な事例で理解が深まった、休職前と休職後では自分の考え方が変わった」という声があった。 ・長文テキストではなく、イラストをまじえて、1つの講座が5～10分ほどで完結する設計は休職者にとっても取り組みやすい。 <p>③受け入れ側体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休職者の上長にあたる管理職に向けた教育コンテンツも含まれており、管理職や人事部門をつなぐコミュニティとしても評価。 ・休職者の準備具合が数値として見えるため、適切な復職判断の材料となり、復職後の状況もモニタリングしやすくなる。 	
○	◎	◎	◎		
○	◎	◎	◎		
サービスの目的・期待される効果				取組の普及・浸透	
【凡例】◎:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価				<p>①平等性/利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤訓練なども含めオンラインで完結するため、全国の拠点に公平にリワークプログラム届けられる ・スマートフォンからでも取り組める <p>②プログラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSを使っでの通勤訓練、生活リズム表の記録もプログラムに入っており、復職に向けての基礎的な生活習慣の構築に役立つ。 ・実際にeReworkで認知行動療法を学んだ休職者から、「自分で勉強はしていたが、具体的な事例で理解が深まった、休職前と休職後では自分の考え方が変わった」という声があった。 ・長文テキストではなく、イラストをまじえて、1つの講座が5～10分ほどで完結する設計は休職者にとっても取り組みやすい。 <p>③受け入れ側体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休職者の上長にあたる管理職に向けた教育コンテンツも含まれており、管理職や人事部門をつなぐコミュニティとしても評価。 ・休職者の準備具合が数値として見えるため、適切な復職判断の材料となり、復職後の状況もモニタリングしやすくなる。 	
基盤整備	法制度対応		—		
	制度・施策体系の整理		○		
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		○		
	組織状況の把握		—		
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		—		
	相談窓口の利用率・認知率向上		—		
	プログラムへの参加率・利用率向上		○		
	不調の早期発見・対応		○		
	ヘルスリテラシー・意識向上		○		
	仕事のストレス要因低減		—		
	心理的安全性・上司のサポート力向上		○		
周囲のサポート力向上		—			
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		○		
	健康状態・心理指標改善		●		
	アブゼンティーズム改善		—		
	プレゼンティーズム改善		—		
	ワーク・エンゲージメント向上		—		
	従業員エンゲージメント向上		—		
	労務指標改善(離職率、残業時間等)		—		

オンラインリワークプログラム eRework（イーリワーク）

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/e-rework/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

認知行動療法に基づいたeラーニングを提供

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要